

名前

1. 日本 2. ブラジル 3. アメリカ合衆国 4. オーストラリア

1. 領土の一部として、他国の船の航行を全面的に禁止できる権利	2. 周辺国の同意を得ることなく、自由に他国の領土を埋め立てる権利	3. 水産資源や鉱物資源などの自然資源を管理し、優先的に開発できる権利	4. 公海として、世界中のどの国も自由に軍事演習を行えるようにする権利
---------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------

1. 満潮時に島が海面下に沈んで消失するのを防ぎ、周囲の広大な排他的経済水域を維持するため
2. 島の周囲に大規模な港湾施設を建設し、太平洋を航行する大型貨物船の補給基地とするため
3. 波による浸食を食い止めることで、将来的に多くの日本人が移住できる居住地を確保するため
4. 周辺海域に眠る石油資源を採掘するために、島全体を強固な海上プラットフォームに改造するため

1. 国後島と択捉島 2. 歯舞群島と択捉島 3. 択捉島と国後島 4. 歯舞群島と国後島

1. 沿岸から200海里以内の水域を指すが、資源の管理についてはすべての国が平等な権利を持つ。
2. 沿岸から200海里以内の水域を指し、魚介類や海底の鉱物資源を優先的に管理・開発できる権利を持つ。
3. 沿岸から500海里までの非常に広い水域を指し、他国の船の航行を完全に禁止することができる。
4. 沿岸から12海里以内の水域を指し、沿岸国の主権が及ぶため、外国の船は自由に通行できない。

1. 北方領土 2. 竹島 3. 小笠原諸島 4. 尖閣諸島

1. 12海里までを領海といい、その国の主権が及ぶ範囲である。	2. 24海里までを排他的経済水域といい、漁業資源を独占的に管理できる。	3. 12海里までを公海といい、どの国の船舶も自由に航行することができる。	4. 200海里までを接続水域といい、犯罪の予防などの権限が認められる。
---------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------

1. 東アジア最大級のブナの原生林が
広がる白神山

2. 独自の進化を遂げた動植物が数多
く生息する小笠原諸島

3. 火山活動によって形成された大規
模なカルデラを持つ阿蘇山

4. 海上に建つ独創的な建築様式を持
つ厳島神社

1. 海岸線の総延長が長く、内海における漁業権が歴史的に国際社会から認められているため
2. 大陸と陸続きになっていない完全な島国であり、周囲の海すべてを領海として主張できるため
3. 海上に点在する多くの島々を領土として保有し、それらを基点に水域が設定されるため
4. 領土の基点から200海里までの範囲を、他国の船が一切立ち入れない領海としているため

1. 沿岸国の主権が完全に及ぶ範囲を広げ、他国の船舶の通行を厳格に制限するため。
2. 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。
3. 沿岸からの距離に関わらず、深海にある資源はすべて国連の管理下に置くため。
4. どの国にも属さない海辺の資源を、世界中の国々が自由に分け合うため。

1. 日本の排他的経済水域の面積は国土面積とほぼ同等であり、アメリカ合衆国のような大規模な開発は行われていない。
2. 日本は四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島を持つため、国土面積の十数倍にあたる広大な排他的経済水域を有している。
3. アメリカ合衆国は日本よりも離島の数が多いため、国土面積に対する排他的経済水域の割合は日本よりも高くなっている。
4. 日本は広大な大陸と接しているため、領海と排他的経済水域の範囲がほぼ一致しており、国土面積に対する割合も低い。

1. 与那国島 2. 沖ノ鳥島 3. 択捉島 4. 南鳥島

1. 与那国島 2. 択捉島 3. 沖ノ鳥島 4. 南鳥島

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本	日本は国土面積こそ世界全体で見れば決して大きくありませんが、周囲に多くの島々を持ち、それらを中心として広大な排他的経済水域が設定されています。選択肢にあるアメリカ合衆国、ブラジル、オーストラリアはいずれも日本よりはるかに大きな国土面積を持つ大陸国家であるため、この比率や具体的な面積数値は日本特有のデータと言えます。
問2	答え 3 水産資源や鉱物資源などの自然資源を管理し、優先的に開発できる権利	排他的経済水域は「経済的」な権利が認められた水域です。沿岸国は、その水域内にある魚などの水産資源や、海底にある石油・天然ガス、マンガン塊などの鉱物資源を自国のものとして管理・開発することができます。一方で、領海とは異なり、他国の船の航行そのものを禁止することは原則としてできません。
問3	答え 1 満潮時に島が海面下に沈んで消失するのを防ぎ、周囲の広大な排他的経済水域を維持するため	沖ノ鳥島が満潮時に海没して「島」として認められなくなると、その周囲にある約40万平方キロメートル（日本の国土面積より広い）もの排他的経済水域（EEZ）を失うことになります。この広大な水域における漁業資源や海底資源の権利を守ることが、護岸工事を行う主要な目的です。
問4	答え 1 国後島と択捉島	北方領土の4島のうち、面積が約1489平方kmで2番目に大きいのは国後島であり、約3167平方kmで最も大きいのは択捉島です。最も面積が小さいのは約93平方kmの歯舞群島、2番目が色丹島という順序をあわせて覚えることで、島名と規模の関係を正確に判断できます。
問5	答え 2 沿岸から200海里以内の水域を指し、魚介類や海底の鉱物資源を優先的に管理・開発できる権利を持つ。	国連海洋法条約によって定められた排他的経済水域（EEZ）は、沿岸から200海里（約370km）までの範囲を指します。この水域内では、他国の船の航行は認められているものの、水産資源（漁業）や鉱物資源（天然ガスやレアメタルなど）の調査・開発については、沿岸国が独占的、あるいは優先的な権利を持つことができます。日本の領海が沿岸から12海里であることと比較して、その範囲と権利の違いを理解しておく必要があります。
問6	答え 1 北方領土	択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の4島は「北方領土」と呼ばれ、歴史的にも一度も外国の領土となったことがない日本固有の領土です。これらは現在、ロシアによって法的根拠のない占拠が続けられていますが、島根県に属する竹島や、沖縄県に属する尖閣諸島とは位置や歴史的経緯が異なります。
問7	答え 1 12海里までを領海といい、その国の主権が及ぶ範囲である。	領海は基線から12海里までの範囲で、沿岸国の主権が及びます。一方で、基線から200海里までの範囲は排他的経済水域（EEZ）と呼ばれ、資源の管理権が認められます。24海里までは接続水域であり、密輸や出入国管理などの犯罪防止のために必要な措置をとることが認められた海域です。
問8	答え 4 海上に建つ独創的な建築様式を持つ厳島神社	世界遺産は、自然環境を対象とする「自然遺産」と、歴史的な建築物や遺跡などを対象とする「文化遺産」に大別されます。厳島神社は、寝殿造の様式を取り入れた建築物と背後の自然が一体となった文化的景観が評価されており、文化遺産に該当します。一方、白神山地や小笠原諸島は自然遺産であり、阿蘇山は世界遺産（世界ジオパークには認定）には登録されていません。
問9	答え 3 海上に点在する多くの島々を領土として保有し、それらを基点に水域が設定されるため	排他的経済水域（EEZ）は、沿岸や島などの領土の基点から200海里（約370km）の範囲に設定されます。日本やニュージーランド、イギリスのように、国土面積に比べて排他的経済水域が非常に大きい国々は、本土から離れた場所に多くの島々を保有しているという共通点があります。これらの島々が基点となることで、その周囲に広大な水域が形成され、その範囲内の水産資源や鉱物資源を独占的に利用・管理することが可能になっています。
問10	答え 2 沿岸国が水産資源や鉱物資源を優先的に利用・管理し、自国の経済的利益を守るため。	1982年に採択された国連海洋法条約により、沿岸から200海里までの資源に対する権利が認められました。これは、大型漁船による乱獲を防ぎ、自国の沿岸にある資源をその国が持続的に利用・管理できるようにすることを目的としています。日本は多くの島々を持つため、領土面積に比べて非常に広い排他的経済水域を保有しています。
問11	答え 2 日本は四方を海に囲まれた島国であり、多くの離島を持つため、国土面積の十数倍にあたる広大な排他的経済水域を有している。	日本は国土面積が約38万平方キロメートルと限られていますが、四方を海に囲まれた島国であり、小笠原諸島や沖ノ鳥島といった離島が広範囲に点在しています。そのため、沿岸から200海里（約370km）に設定される排他的経済水域の面積は約447万平方キロメートルに達し、国土面積の約12倍という非常に高い割合を誇ります。これに対し、アメリカ合衆国は国土そのものが巨大であるため、水域の面積自体は広くても、国土面積との比率では日本の方が圧倒的に高くなります。
問12	答え 2 沖ノ鳥島	日本の領土の東西南北の端に位置する島々のうち、最南端にあるのが沖ノ鳥島です。北緯20度付近という低緯度に位置しており、行政上は東京都に属します。よく混同される南鳥島は「最東端」の島であり、日本で最も早く日の出を迎える地点として知られています。最西端は沖縄県の与那国島、最北端は北海道の択捉島（北方領土）です。
問13	答え 3 沖ノ鳥島	日本の領土の南端に位置する沖ノ鳥島は、サンゴ礁からなる非常に小さな島です。もし満潮時に海面下に沈んでしまうと、国際法上「島」として認められなくなる恐れがあり、その島を起点とする広大な排他的経済水域（EEZ）を失うことになります。そのため、日本政府は消波ブロックの設置やコンクリートでの護岸工事を行い、島の維持に努めています。